

自己評価					学校関係者評価	
学校運営計画 (4月)				評価 (総合)		
学校運営方針		(1) 校訓「誠・敬・愛」 誠実で、礼儀正しく、自他を尊重する (2) 生徒のやる気を応援し、個性を伸ばす西田川高校！			評価 (総合) 自己評価は A 適切である B 概ね適切である C やや不適切である D 不適切である	
昨年度の成果と課題		令和 5 年度重点目標	具体的目標			
[成果] フレックス型単位制高校が開課程 3 年目となり、これまでの西田川高校の文化を継承しつつ、「心のオアシス」として地域に信頼され愛されるとともに、校内に活気が満ちてきた。 [課題] (1) 今年度、定時制単位制単独としての学校運営と教育活動の創造 (2) フレックス型単位制の良さを生かした教育活動安定の充実を図る。 (3) 本校職員としての連携を維持・強化し、チーム化を図る。 (4) 地域社会に開かれた教育課程づくり。		(1) わかる授業の実践と積極的な授業改善による確かな学力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> 講座出席率 8 割、単位修得率 8 割の実現及びカリキュラム・マネジメントの充実 観点別評価の充実により、欠席・遅刻・早退の減少を図り、授業を大切にすることを養う 一人年 1 回の授業公開 (主体的な学び：導入、見通し、振り返りの工夫) と授業規律の向上 			
		(2) 未来に活躍できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに合った生徒支援を行い、特別な配慮が必要な生徒へ適切な生徒支援や積極的で柔軟な教育相談の実施 社会で必要な正しい言葉遣いや素直な心を持ち周りに配慮できる生徒の育成 基本的な生活習慣を整え、授業を大切にすること。 食育の充実と給食喫食の向上 			
		(3) 自己理解を深め、将来ビジョンを描くためのキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の育成 自己選択能力と自己決定能力の育成 キャリア・ガイダンスの充実 担任による個人面談の実施、充実 教員の受講ガイダンス能力の向上 			
		(4) 地域社会に開かれた教育課程づくり	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の推進 (広報物、インスタグラム、学校ホームページの充実) 保護者教師会、同窓会、地域との連携強化 			
		(5) 自他が認められ、一人ひとりの居場所が尊重される「心のオアシス」づくり	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の環境を向上させるためのプロジェクト実施 人権学習の見直し (全体計画・年間計画・内容) 人権・同和教育推進委員会の充実 (生徒の情報交換と具体的方策等) 			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題		
教務部	・確かな学力の育成と授業規律の向上	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業の実践により、基礎・基本の徹底・充実。 観点別評価を充実させ、授業に取り組む姿勢の醸成。 授業見学月間並びに授業アンケート等の実施・教員への還元 				
	・授業を大切にすることを養う	<ul style="list-style-type: none"> 講座出席率 8 割、単位修得率 8 割の実現。 欠席・遅刻・早退者への細やかな指導の充実。 時間厳守、始業・終業時の挨拶指導、丁寧な言語使用の指導 				
	・教職員の授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価の導入による指導と評価の一体化。 I C T 等を活用し生徒がわかる授業、達成感のある授業の実践。 				
生徒部	・挨拶の徹底と場に応じた言葉遣いを身に着けさせる	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学校生活で言葉遣いを大切にする。 指導無視や暴言は許さない指導を行う。 教員側から積極的な挨拶を心掛ける。 				
	・安心安全な学校作りに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に学校生活アンケートなどに取り組む。 担任面談・スクールカウンセリングを行う。 授業を大切にすること。 				
	・心身の健康の保持増進のための適切な健康管理と保健指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 「自らの健康は自ら守る」保健指導・保健室経営を行う。 特別な配慮が必要な生徒へ適切な支援を行う。 食育の充実、給食喫食率の向上を図る。 				
	・快適で安全な学校生活のための校内の環境美化活動、感染症対策に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 全日制課程との協力・連携による清掃活動を実施する。 ゴミの分別を徹底する。 授業や、学校行事・特別活動等における適切な感染症対策を推進する。 				
ガイダンス部	・キャリア教育の充実 (進路探究の深化)	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」と教科授業等の教育活動を有機的につなぐ。 生活体験作文を通して、生徒に自己の在り方や生き方を見つめさせる。 「高大連携事業」により、生徒の自己実現や進学に対する意欲を高める。 				
	・受講ガイダンス・登録の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教員が生徒と信頼関係をつくり、個人面談を充実したものにする。 教育課程を理解したうえで、キャリアカウンセリングを行う。 				
		<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」やホームルーム活動で生徒に自分を見つめさせる。 				
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会から意見					

企画広報部	・学校行事をはじめ、学校刊行物等、校務運営の円滑化に寄与する。 ・パンフレットやSNSを活用した効果的な広報を行う。 ・保護者教師会や同窓会と連携し、教育活動の充実を図る。	関係分掌と連携して、学校行事の円滑化を図る。						
		学校発刊物の作成をする。（「学校要覧」「生活ガイドブック」）						
		交誼会の充実、職場環境の整備を行う。						
		計画的な刊行物の発行を行う。						
人権・同和教育推進／図書研修部	・人権が尊重される学校・学級づくりの推進	相手の尊重したコミュニケーションを、全職員・全生徒で実践し、良好な人間関係の基礎を築く。						
		授業や学校行事、部活動等の生徒作品展等を通して、生徒一人ひとりの個性を尊重し、相互に認め合う集団づくりに取り組む。						
		人権に関する掲示物を設置し、生徒が人権について自ら考える機会を設ける。						
	・人権・同和教育推進体制の充実	人権教育全体計画を作成し全教科・全領域で人権教育が実施できる体制を作る。						
		人権・同和教育推進委員会を定期的で開催し、生徒情報の共有化を図り、生徒の修学（就学）を全職員で支援する体制を作る。						
		適時、校内職員研修会の実施し、校外研修への参加を促すことで本校職員の知的理解を深め、人権感覚を磨く体制をつくる。						
		授業見学月間を設定し研究授業や公開授業を行う。						
	・新しい学習観に基づいた力を育むための授業改善の推進	研究協議などを通して、互いの授業を改善していく。						
		各種校外研修への積極的な参加を推進する。						
	・校内職員研修会の企画・運営及び各種研修会への積極的参加の促進	校内研修会において、各部との連携を図る。						
年度総括を含め、研修・研究内容等をまとめる。								
・図書館の利用や、読書を推進する。	オリエンテーションを実施し、図書館利用の促進を図る							
	子ども読書の日や、総合的な探究の時間等の読書活動の充実させる							
新入生年次	・豊かな人間性の育成	状況に応じた適切な言葉遣い・態度を考えさせ社会の一員であることを自覚させる。						
		ルールやマナーを守ることの必要性を全ての教育活動をとおして伝える。						
	生徒と教員の信頼関係を強固にして話し合える環境づくりをする。							
・確かな学力の育成	生徒が授業に集中して臨めるように、授業規律の徹底を図る。							
	小人数制の授業の中で個々に応じた授業を展開していく。							
	進路指導の充実を図り、希望進路の早期決定に向けて生徒と共に取り組む。							
在校生年次	・豊かな人間性の醸成	状況に応じた適切な言葉遣い・態度を身につけさせ、社会生活におけるコミュニケーション能力の向上を図る。						
		誠実で、礼儀正しく、自他を尊重する力を身につけさせる。						
	・確かな学力の育成	多様な価値観を受け入れ、相手の立場に立って物事を考えられるようにするために、人権教育を通じて人権の重要性を伝える。						
		学習意欲を引き出す環境を整え、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。						
卒業生年次	・自他を尊重する力の育成	自らの生き方や進路について探究し、希望進路実現に向けて社会性や学力を身につける。						
		受講ガイダンスや進路講座等を通じて、生徒一人ひとりの進路意欲の涵養を図る。						
	・社会人として適切な言動ができる生徒の育成	生徒と教員の信頼関係を強固にして話し合える環境づくりをする。						
		生徒が授業に集中して臨めるように、授業規律の徹底を図る。						
ルールやマナーを守ることの必要性を全ての教育活動をとおして伝え、社会の一員であることを自覚させる。								
敬語を使えることは社会人としてのマナーであることを伝える。								
様々な問題や悩みを抱えた生徒と十分に話し合える環境づくりをする。								
進路関係の説明会をとおして、生徒一人ひとりの進路意欲の涵養を図る。								

自己評価及び学校関係者評価の評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見
